

「婦人科緊急開腹手術」で手術を受けられる患者さんへ

様

主治医

*この予定表はおおよその目安です。患者さんの状態等により、予定が変更になることもありますので、ご了承ください。なお、分からないことがありましたら、遠慮なくスタッフにご相談下さい。

	月 日（手術当日）		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
	手術前	手術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7日目
経過	手術の必要性が理解できる。	傷口や、おしもからの出血がない。 痛みがある場合は看護師に伝えることができ、苦痛なく過ごせる。			身の回りの事ができる。 傷口に問題がない。			退院後の生活について理解できる。	
診察	 主治医 診察		 医師 傷のチェック	 医師 ガーゼ交換					 主治医 退院診察 退院後の生活について説明します。 診察時、「退院のしおり」を持参して下さい。
処置 投薬 治療	 お腹とおしもの毛を剃ります。 点滴を始めます。 手術前に胃を保護する注射をします。 弾性ストッキングを履きます。	 点滴3本 抗生物質の点滴  腰に痛み止めの管が入っています  酸素吸入をします。  血圧計を付けます。	 点滴3本 抗生物質の点滴 1日2回（朝、夕） 酸素吸入を終わります。 血圧計をはずします。	 点滴2本 お腹の管を抜きます。 腰に入っている痛み止めの管を抜きます。	 点滴1本 点滴を抜きます。		 血液検査	 抜鉤（抜糸）。 傷を保護するテープを貼ります。	午前11時頃退院となります。
説明 指導	 医師が手術の説明をします。 看護師が入院生活・手術前後のスケジュールについてお話しします。 サイズ測定後に弾性ストッキングを履きます。	傷の痛み、頭痛、腰痛、足のしびれ、吐き気などの症状がないか確認します。 つらい症状がある方は看護師までお知らせ下さい。					 看護師 「退院のしおり」をお渡しします。		 薬剤師 内服薬について説明します。  看護師 診察券、次回外来の予約券をお渡しします。
トイレ	 浣腸をすることがあります。	 尿の管が入っていますので、 寝たままの状態で介助します。	 尿の管を抜きトイレまで歩けます。	 制限はありません。					
安静	制限がある場合があります。	 手術後3時間から寝返りができます。	 初めて起きる時 看護師が付き添います。 ベッド上で座ることが出来ます。	 初めて歩く時 看護師が付き添います。 起きて歩くことが出来ます。	 制限はありません。				
食事	 1日中飲んだり食べたりすることはできません。 うがいはできます。	 看護師による飲水チェック後から 水を飲んででもかまいません。		 お昼から水分やゼリー類の 食事が開始されます。	 少しずつ普通の食事になります。 普通の食事になればメニューを選択できます。 食事内容を変更したいときや食欲がないときなどは、  看護師、栄養士にお知らせ下さい。				
入浴	 医師の許可があれば シャワーを浴びることができます。	 看護師 ヘルパー 洗面は介助します。	 看護師 看護師の介助で身体を拭いて 着替えます。		 医師の許可があればシャワーを浴びることができます。 入浴は退院後に医師が許可すれば可能です。				